

# AMDA

## 多様性の共存

# ジャーナル

2017年1月25日 VOL.40 第280号 定価550円  
 発行/AMDA 〒700-0013 岡山市北区伊福町3-31-1  
 TEL 086-252-7700 FAX 086-252-7717  
 E-mail:member@amda.or.jp  
 郵便振替:01250-2-40709 □座名:特定非営利活動法人アムダ

2017年  
冬号

冬

救える命があればどこへでも

## 2017年新春のごあいさつ

AMDA グループ代表 菅波 茂

明けましておめでとうございます。

本年も皆様方にとって良いお年でありますことを祈念いたします。

昨年12月1日から2日間、マレーシアの首都であるクアランパールでアジア地区AMDA インターナショナル支部長会議を開催しました。マレーシアはマレー文化、中国文化そしてインド文化が共存する国です。AMDA 設立の1984年から32年の年月が過ぎ、光陰矢の如しです。医師になった第2世代の家族連れで参加した支部長もいました。

2017年から世界は大きく変わります。

- 1) グローバリゼーションから国家単位。
- 2) 米国一国主義から中国とロシア等が台頭する多国主義。
- 3) 日本を除く先進国はデフレ経済。

NGOの世界もそれぞれの長所と短所をお互いに補うネットワーク形成により世界平和にどのようにお役に立てるかを模索する時代になりました。

このような状況をふまえて、AMDA はここ数年間かけて構築してきた「開かれた相互扶助」を基本にした世界平和パートナーシップ (GPSP)、アジア災害ネットワーク、AMDA 南海トラフ災害対応プラットフォーム、国際医療貢献プラットフォームそしてトリプル A パートナーシッププログラムの5つのネットワークをAMDA インターナショナルが中心となって推進することをアジア地区AMDA インターナショナル支部長会議で確認しました。

本年も引き続き、皆様方のご理解と温かいご支援がいただければ望外の喜びです。



## 2017年初春のお慶びを申し上げます

認定特定非営利活動法人 AMDA  
理事長 成澤 貴子

熊本地震を始め、岩泉水害、鳥取地震など災害にあわれた地域の方々には被災後初の新春を迎えられ一層に感慨深く睦月をお過ごしのことと拝察申し上げます。



AMDA の緊急医療支援活動を始めとする様々な活動にご協力いただいています全国の皆様年頭にあたりまして改めてお礼申し上げます。

地球規模で災害が多発しています。経済の層も二極化が進んでいます。困難は社会の中でより弱い

ところに集積され現れます。AMDA はこれからも必要とされるところにいつも寄り添い続けてまいります。

本年もご支援賜りますようお願い申し上げます。

## ネパールで菅波代表が特別記念講演

AMDA グループ菅波茂代表が11月11日、ネパールのビピコイララ医科大学で行われたネパール医師会の第27回総会で、同医師会の依頼を受け特別記念講演をしました。

菅波代表は「ネパール医師の中南米での人道支援プロジェ



ネパール医師会総会で講演する菅波代表

クトは多民族、多宗教、多文化などの多様性を実現する貴重な役割を果たしました。2015年に起きた地震でも活躍し、『今日のネパールは昨日のネパールではない』というメッセージを世界に発信しました」と話しました。さらに、菅波代表は南海トラ

フ災害の際はぜひネパールの政府、医師会から緊急医療チームを派遣してほしいと呼び掛けました。

また、AMDA はネパール大地震の後に急増した精神疾患の患者に対応するため、日本医師会、ネパール医師会と共同で、ネパール国内の医療従事者約400人に心理カウンセラー養成講座を実施したことに高い評価を受け、総会開会式で日本医師会の横倉会長と菅波代表に感謝状が贈られました。

## 南海トラフ災害にむけての備え【事前交流】

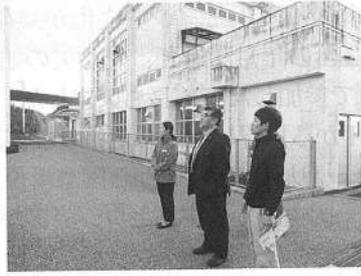
AMDA では近い将来発生が予想される南海トラフ災害に向けて、事前準備を進めています。

甚大な被害が心配される徳島県と高知県の9市町に支援チームの派遣を予定しており、予め支援協力を表明してくださっている医療機関と基礎自治体のマッチングを行っています。医療機関の方々とともに、支援に入る予定の基礎自治体を訪れ、事前に市町の状況や行政担当の方と顔合わせをすることによって、具体的な支援活動のイメージが湧きます。

11月と12月には3つの医療機関の方々とともに徳島県の牟岐町を訪れました。牟岐町役場や地域災害拠点病院である海部病院をはじめ、指定避難所や交通網を確認



牟岐町役場にて



牟岐町指定避難所を視察

しました。実際に町の雰囲気や、抱えている問題などをご自身の目で見ていただきました。実際に町を訪れた関係者の方々

からは、「漠然と考えるより南海トラフ災害は喫緊の課題であるとひしひしと感じた。町の方々に寄り添えるような、心の触れ合いも大切にした支援活動に力を注ぎたい」と、より一層の熱意のこもったお言葉をいただきました。

さらに、12月19日牟岐町防災担当の職員2人が医療機関を訪問し、具体的な協議が行われ連携がさらに強化されたと感じました。

南海トラフ災害はいつ発生し、またどのような被害が及ぶのかわかりません。しかし、行政や医療機関の方々とともに使命感をもって事前にこうした準備を進めることで、救える命が増えると考えます。



福山医療センターにて

### 南海トラフ災害に備えて — 事前に参加表明してくださるボランティアの方々を募集中！

AMDA ER ネットワークには医師、看護師、薬剤師、鍼灸師、調整員など、様々な業種の方々にご登録いただいています。南海トラフ災害に向けて事前に活動参加を表明してくださる方を募集しています。

この春より薬剤師となった女性から南海トラフ災害への支援活動に対する参加表明とともに嬉しいお便りをいただきましたのでご紹介します。

「学生時代はおかやま国際塾2期生として、また、岡山大学国際医療勉強会 ILOHA の一員として AMDA のスタッフの皆様には大変お世話になりました。

現在、私は薬剤師研修生として様々な経験をさせていただいており、忙しさの中にやりがいを感じ奮闘しております。先日、勤務先の病院で南海トラフ地震を想定した大規模な訓練が行われました。私自身も参加させていただき、近い将来起こりうる地震に対する備えの必要性を再認識したところです。まだまだ、薬剤師としての経験は短いですが、緊急時には少しでも力になれるよう、今できることを着実に進めたいと考えております。」（一部省略）（薬剤師・20代女性）

### 第4回食糧と人道支援シンポジウムを開催

南海トラフ災害を見据えた AMDA 主催の「第4回食糧と人道支援シンポジウム」が12月17日、岡山国際交流センターで開かれ、災害に対する準備の現状を共有し、また食糧支援の在り方を考えました。

AMDA グループの菅波代表が基調講演をし、食糧や医薬品などの事前備蓄と、相互信頼を構築するための被害想定地域の方々との事前交流の大切さを強調しました。

続いて、AMDA 支援農場世話人の皆様や菅波代表がパネラーとして、「食と人道支援 起こりうる南海トラフ地震津波に備えて」と題したテーマで、主に食糧備蓄について話し合いました。皆様から、備蓄について具体的な提案をしていただきました。「津波に安全な地区に倉庫を確保し、あらかじめ農家がコメを備蓄する手法を導入してはどうか」など建設的な意見が相次ぎました。



参加者の皆様からたくさんの貴重なご意見をいただきました

その後、ご来場いただいた皆様からも、お話いただき課題点が浮かび上がりました。課題点についてはこれから AMDA 支援農場世話人の方々とともに考えていくことになり、閉会となりました。

当日は、AMDA が東北支援のひとつとして行っている、NPO 法人仙台夜回りグループ（路上生活者への食事支援を行っている NPO 法人）へのお米の目録贈呈も行われました。

## 福島県沖地震緊急支援活動

11月22日午前5時59分、福島県沖を震源とするM7.4の地震が発生。福島県で震度5弱を観測したのを受け、AMDAはチームの派遣を決定。同日福島県に入りました。

元AMDA職員の伴場さんが立ち上げた一般社団法人Bridge for Fukushima(BFF)の事務所を訪問。BFFが問い合わせた沿岸部団体の情報でも人的被害はないようでした。南相馬市では南相馬市立総合病院の神戸医師にお会いしましたが、大きな被害や混乱はないようでした。また、復興グルメF-1大会でお世話になっている南相馬かしま福幸商店街の高橋さんに伺ったところ、南相馬市では避難所が6カ所開設され約420人が避難。昼には市が炊き出しを行ったそうです。避難勧告が解除され、夜には避難者全員が帰宅したそうです。情報収集の結果、第2次派遣の必要性はないと判断しました。福島を離れる前に、復興グルメF-1大会関係者にお会いしました。沿岸部の住民は災害への意識が高く、地震発生後すぐに避難し被害はなかったとのことでした。皆様から「遠い所か



南相馬市立総合病院にて

らありがとう」と労いの言葉をいただきました。

### ■派遣者

山河 城春 看護師、保健師 / AMDA ER ネットワーク登録メンバー  
難波比加理 調整員 / AMDA 本部職員  
松永健太郎 調整員 / AMDA 本部職員

## 東日本大震災からまもなく6年

復興グルメF-1大会運営事務局代表  
気仙沼復興商店街南町紫市場副理事長  
AMDA 参与 坂本 正人

震災から、もう6年を迎えようとしているなか、私達、気仙沼復興商店街紫市場も4月には閉所し本設へ移る事になりました。



震災から8ヶ月で仮設商店街を立ち上げましたが、他の被災地では、どのような様子なのかが全く分からず、自分達の仮設商店街運営に、がむしゃらに取り組んでいただけでした。そこでAMDAの仲介により、被災地間交流のきっかけとなった岩手県大槌町のきらり商店街と姉妹提携をさせて頂きました。

その交流の中で被災地間の温度差を感じました。同じ仮設商店街でも出来ること出来ないことなど行政の壁を感じ、これから本設に向かうには被災地間どうしがひとつになって情報共有交換をしなければと思いAMDAと協議し「復興グルメF-1大会」につながりました。

この大会で今まで交流のなかった被災地の人達の現状、悩みなどを分かち合い自分達との違い、また国の助成金の運用法など分からなかったことが見えてきました。しかし私達の商店街は、店舗もテナントや借家の人達の多い所で店の再建にも土地や建物などが無く、問題も山積みでした。

ただ仮設商店街は最大5年といった気仙沼市との取り決めもあったので、本設に向けて準備していましたがなかなか私達の状況に合った助成金対象が見つかりませんでした。

その中でグループ補助金の商店街型といった助成金ができ、エントリーしました。これは共同テナントビル

も対象になるといった内容なので、私達の思惑と一致しました。しかし土地取得には、助成金は使えないことが判明し、自分たちで用意しなければなりません。助成金のありかたに当初戸惑いながらもある程度の土地は自分たちで借入確保しました。

商店街というものは、人がいて成り立っているもので、どうしても住居の確保が必要となり、共同店舗の他に住居付商業施設を建てる人も視野にいれ、市の協力を仰ぎながら個店再建もまとめました。そこで、災害公営住宅を商業施設の上に建て、人も住んでもらうといった商店街構成を考えました。幸い、内湾地区には、かなりの数の公営住宅が建つことが決まり、今建設が始まっています。昨年11月には同じグループである魚町内湾商店街が一足早く立ち上がり賑わいづくりに貢献しています。本設の商店街も建設が始まり、今年5月には竣工出来そうです。ただ当初53店舗のうち約40店舗がグループ補助金を使い移る予定でしたが資産計画を出したところ半分以上が抜けていきました。共同店舗を自分たちで建て支払っていく計画の中で、今まで仮設商店街で支払っていた共益費に比べると8倍～10倍になります。更に、当初計画していたものより建設費なども2倍以上に膨れ上がり、長期ローンを組む中で後継者不足、健康不安などの問題で減少しました。

私達は、他の仮設商店街の店舗にも参加して頂きながら36店舗で商店街店舗を形成していきます。又、避難所から立ち上げた商店街ということもあり、コミュニティーの大切さを充分理解し、公営住宅と商店街のコミュニティーの再築を行い、現在各地で起こっている様々な災害に、東北の仲間たちと一緒に出来る事を考えていくつもりです。

まだまだ人が戻ってこない状況ですが気仙沼内湾の賑わいづくりに、これまで以上にみんなでひとつになり気仙沼の顔となるよう頑張ります。

## 連載インタビュー「支える喜び」シリーズ 第11回

### 三木 剛 様 (倉敷アカデミックウインズ団長)

AMDA を支えてくださっている支援者の皆様、インタビュー形式で様々なエピソードをお伺いしている「支える喜び」シリーズ。11回目となる今回は、アマチュア吹奏楽団として倉敷市を中心に活躍し、長年にわたり AMDA をご支援してくださっている倉敷アカデミックウインズ (岡山県倉敷市) の三木剛団長にお話を伺いました。

#### AMDA の理念に共感

**AMDA** 本日はお忙しい中、ありがとうございます。倉敷アカデミックウインズ様からは2011年3月を皮切りに、毎年ご寄付をいただき、スタッフ一同、心から感謝しています。



**三木** そう言っていただけで何よりです。寄付対象に選ばせていただいたのは、AMDA の組織が大きくなって、地元岡山に本部を置いて活動してこられたことに感銘を受けたからです。「救える命があればどこへでも」という AMDA の理念にも共感しています。毎年冬の定期演奏会の開演前に会場のロビーでチャリティーアンサンブルを開催し、団員らが募金箱を手に来場される方に協力を求めています。毎年春に開催する子供向けの「わくわくコンサート」でも会場に募金箱を設置しています。

#### 会場に AMDA 活動紹介パネルを展示

**AMDA** 会場では AMDA の活動を紹介するパネル展示にもご協力をいただき、温かいご配慮に重ねて感謝を申し上げます。

**三木** ご来場された方はパネルの前で足を止め、熱心に見学されています。AMDA の名前は新聞やテレビの報道で良く知っておられますが、パネルを見ると活動がより身近に感じるのではないのでしょうか。特に普段



練習風景

ニュースであまり取り上げられない海外での緊急支援活動のパネルには興味深そうに見ておられます。倉敷アカデミックウインズの募金活動も徐々にご来場の皆様に浸透し、AMDA を支援するという気持ちで寄付してくださっています。

**AMDA** 毎年8月の岡山県一般吹奏楽連盟主催のコンクールでは金賞を何度も受賞されるなど素晴らしい成績を残されています。老人ホームを訪問し演歌を披露されるなど多彩な活動もされています。

**三木** 今年2月19日に倉敷市民会館である第25回定期演奏会でも AMDA 支援のためのチャリティーアンサンブルを企画しています。また、人気ゲームの曲を演奏するなどご来場された方々に楽しんでもらえるよう考えています。定期演奏会に向けて、団員みんなで猛練習中です。

**AMDA** 定期演奏会の迫力のある演奏ぶりに魅せられ毎回、約700人が訪れる盛況ぶりです。特に東日本大震災から5年の節目の年には、演目に「花は咲く」など団員のメッセージを込めたチャリティーソングを演奏されました。ご来場された方から「涙が止まらなかった」という声もいただきました。

#### 被災地は一刻も早い復興を

**三木** 団員全員が「一刻も早く元の生活に戻ってほしい」という気持ちを込めて演奏しました。AMDA は災害が起きると、治安の良くない地域を含め、世界各国に迅速に出向いて行かれています。まさに理念を具現化する活動には頭が下がる思いです。微力ですが、今後も AMDA を支援していきたいと思っています。頑張ってください。期待しています。

**AMDA** 週2回の定期練習前のお忙しい中、貴重なお話をありがとうございました。三木団長の心強い励ましを胸に、あらためて AMDA の使命を再認識して一層の努力を重ねます。よろしく願います。

#### 倉敷アカデミックウインズ 第25回定期演奏会のご案内

日時：2017年2月19日(日)  
開場 13:00 開演 14:00  
※開場後、ロビーにてチャリティーアンサンブルが開催されます。  
場所：倉敷市民会館  
チケット：前売 500円  
当日 600円 (小学生未満無料)  
お問い合わせ先：090-2860-8597  
倉敷アカデミックウインズホームページ  
<http://kurashikiacademicwinds.jp/>

(インタビュー内での敬称は省略させていただきました)

## スリランカ紛争後復興支援活動 — AMDA 中学高校生会の活動からみる平和構築プログラム —

12月18日、岡山国際交流センターでスリランカでの活動報告会を開催しました。

AMDAが実施しているスリランカでの平和構築プログラムの報告とともに、内戦停戦後の2003年からスリランカでの平和構築交流事業を断続的に行っている「AMDA 中学高校生会」が発表を行いました。

今夏スリランカを訪れたメンバー2人が、平和構築プログラムでスポーツ、文化、宗教の3部門で交流した活動内容を報告。「言葉は通じなくても心は通い合う。お互いを知ることが平和への第一歩につながる」と感想を述べました。さらにAMDA 中学高校生会メンバーらが考えた、平和構築のポイントを発表しました。お互いの違いを認め尊重し合う「多様性の共存」と、自分を愛し他人も愛する「愛の連鎖」の大切さについて話しました。

また当日は、AMDA グループの菅波代表がスリランカ支援の経緯と意義を説明し、AMDA 職員ニッティヤン・



AMDA 中学高校生会メンバーによる発表

ヴィーラヴァーグ（スリランカ生まれ、オーストラリア国籍）が、15歳で両親を亡くした子どもの頃を振り返り「戦争は破壊、平和は創造」と強調しました。

在大阪スリランカ名誉総領事のD・W・アルツガマゲ氏がお越しくださいました。

AMDA 中学高校生会の発表者は次の皆さんです。（敬称略）岡本茅子、柏野悠吾、斉藤真子、常原拓真、古瀬友里、改木英永

## ネパールでの活動

### AMDA ダマック病院の機器充実

ネパールのAMDA ダマック病院は1992年からメチ県ジャパ郡で、ブータン難民と地域住民の双方に医療サービスを提供しています。

この病院は地域に根差したコミュニティー病院で、患者は私立の病院より経済的負担が少なく治療を受けることが出来ます。しかし、医療器具が不足しており、治療の困難な患者はカトマンズなどの他の病院に紹介せざるを得ないのが実情です。地域の皆様のために、医師の技術をより高め、高度な医療器具を揃えていく必要があります。そこで、病院は腹腔鏡用の機器を購入し、腹腔鏡による検査と手術を開始する予定です。また医師の技術を高めるため、同病院サンジャヤ医師がAMDA バングラ



新しく設置された腹腔鏡用の機器

デシュ支部長ナイーム医師の病院で腹腔鏡手術（検査）、ディウス医師が岡山済生会総合病院内視鏡の研修を受けました。

高度な技術と先端医療機器が入ったことでより高度な治療が提供できるようになり、地域の皆様も「自宅近くで高度な医療技術が受けられることになった」と喜ばれています。

### ネパール人医師が岡山済生会総合病院で研修

ネパールのディウス・ラズ・ボホラ医師が9月5日から11月17日まで、岡山市の岡山済生会総合病院で研修を受けました。平成28年岡山県国際貢献ローカルトゥローカル移転事業の助成を受け、来日したものです。

ディウス医師はAMDA ダマック病院に所属する内科医です。同病院は、在ネパール日本大使館よりICU増設のための支援を受けることになりました。ディウス医師はICUの担当で、岡山で内視鏡による検査、治療技術を習得することで、ネパールの医療従事者に対し技術を広く普及させ、効果的な病院運営が期待されています。

ディウス医師は初めての来日で言葉や文化の違いに戸惑いながらも病院職員のサポートを受け、内視鏡の各種検査やポリープ切除術、EMR（内視鏡的粘膜切除術）、薬の知識など多くのことを学びました。

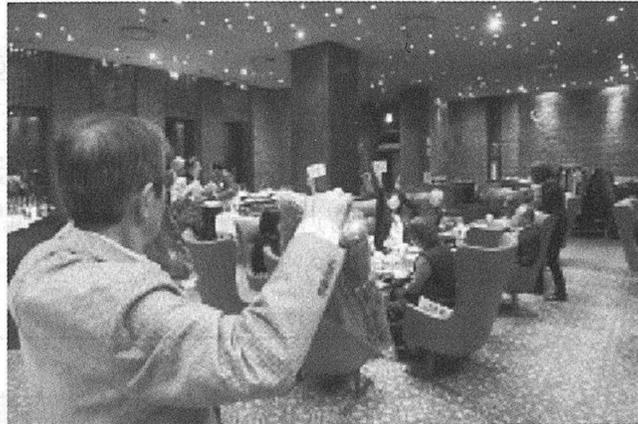


岡山済生会総合病院で研修を受けるディウス医師（左）

ディウス医師は11月17日、岡山県で開かれた修了式に出席した後、AMDAに報告で訪れました。同医師は「技術研修の毎日とはとても楽しく、新しいことを学びました。感謝の気持ちでいっぱいです。残りの人生を消化器分野の医療で祖国のために尽くしたい」と抱負を述べました。

\*毎年チャリティーオークションを通じて AMDA にご支援いただいているライフビジョン学会様から、今年度もご寄付をいただきました。寄稿文をいただきましたのでご紹介します。

「勤労奉仕」は押しつけがましい。「ただ働き」では損した気分。一方わがライフビジョン学会のチャリティーオークション・パーティには、ちょっと背徳のニオイがする。昼日中、都心のホテルでお酒を飲みごちそう食べながら、日ごろは儉約節約を旨とするサラリーマ



オークション風景

ンやOBたちが、誰かの無償提供品をオークションしてカンパ金に換える。

ここに並んだ「商品」は値切ってはいけない。額面を隠して出展された商品を競り上げて、市価より高く落札するのがマナー。カジノ法などなくてもドキドキはらはら、気分は大いに活性化。

災害に遭われた皆さまを支援しようという清い心と、目的達成手段の怪しさがオトナの皆さまの心を射てか、今年で21回目。延べ1,180人が7,581,919円を生み出した。

微力だけれど無力じゃない。誰かに指示されて動くのではなく、自分の意思と行動で自分の利益以外の事に参加する。ボランティア、こんなに面白いことは他にない。

### 新潟県糸魚川大火 緊急支援活動

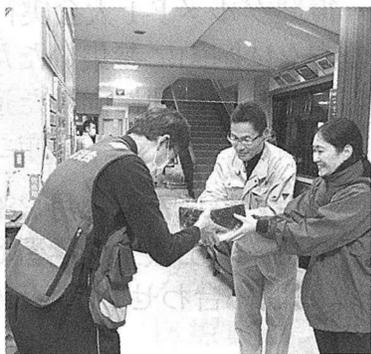
12月22日、新潟県糸魚川市で大規模火災が発生。363世帯(744人)に避難勧告が出され、約150棟、4万平方mが焼損する事態となりました。

総社市とAMDA合同支援チームは24日午前10時に総社市役所を出発、同日午後5時に現地に到着。すぐに避難所と糸魚川駅北大火対策本部を訪問し、織田副市长らに総社市が持参したクリスマスケーキなどを手渡しました。被災した地域では、地元の方々がお茶やコーヒー、トイレ、仮眠スペースなどを提供し、助け合いの輪が広がっているのが印象的でした。

#### ■AMDAからの派遣者

橋本千明 / 看護師 / AMDA 職員

#### ■活動期間 12月24日～25日



ケーキを手渡す総社市職員とAMDA看護師

### インド AMDA ピースクリニック開院 8周年

11月17日、インド、ビハール州ブダガヤにあるAMDAピースクリニックにて開院8周年記念式典が行われました。ビハール州はインドの最貧州といわれ、多くの人が貧困で苦しんでいます。



母子保健活動の様子

AMDAは2009年、この地域の医療福祉に貢献するため、AMDAピースクリニックを開院しました。記念式典には、地元関係者および日本からの事業関係者が集まり、当事業の発展が祈願されました。

AMDAピースクリニックは、現在、母子保健活動と月1度の歯科診療を行っています。母子クリニックに登録している患者数は131名、歯科は72名です。今後は地元のヘルスセンターとして、健康相談や保健指導を行っていく予定です。

### 茨城県地震 緊急支援活動

12月28日午後9時38分に茨城県北部を震源とするマグニチュード6.3の地震が発生し、高萩市で震度6弱を観測。AMDAは29日、被災地での支援ニーズ調査のため看護師1人、調整員1人を派遣し、同日正午過ぎ現地入りしました。29日午前中には住民は避難所から自宅に戻っており、余震は続くものの建物被害はほとんどなく平穏でした。医療などの支援ニーズはないと判断し、調査を終了しました。

#### ■派遣者

山河 城春 / 看護師、保健師 / AMDA ERネットワーク登録メンバー  
大西 彰 / 調整員 / AMDA 職員

#### ■活動期間 12月29日～30日

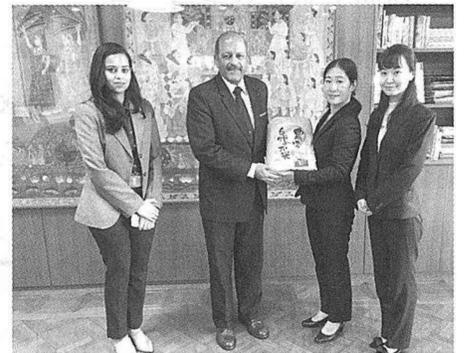
### AMDA フードプログラム連携 野土路農場の有機米を駐日外国公館へ贈呈

11月12月にかけて、16の国と地域の20駐日外国公館への表敬訪問を行いました。

AMDA フードプログラム連携 野土路農場の有機米を贈呈するとともに、AMDA フードプログラムやアジアへの有機農法普及

のための取り組みを説明させていただきました。

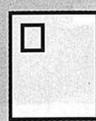
いずれの公館でも大きな関心を示してくださいました。



インド大使館にて

### 事務局よりお知らせとお願い

※多くの皆様からのご寄付、本当にありがとうございます。お名前のご記載の誤りなどがございましたら、恐れ入りますが事務局までお知らせください。



※書き損じハガキ、未使用切手を集めております。通信費の節約に役立たせていただきますので、ぜひご協力をお願いいたします。

## 倉敷平成病院と赤磐市と 災害時連携協定を締結

AMDAは大規模災害が発生した際に相互に連携しながら被災地の支援活動を行うため、10月11日に倉敷平成病院、12月21日に赤磐市と連携協定を締結しました。



市と認定特定非営利活動法人AMDAとの連携協定に  
赤磐市・認定特定非営利活動法人AMDA



写真上：  
倉敷平成病院との連携協定調印式  
写真下  
赤磐市との連携協定調印式

## 「東北の新月」上映会のご案内

被災地で支援活動を行っている、映画監督のリンダ・オオハマさんは震災後単独来日。その後2年にわたり、被災者に寄り添い行動してきました。その彼女がボランティア活動を通して出会った東北の方々とエピソードをドキュメンタリー映画にしました。AMDA大槌健康サポートセンター長の佐々木賀奈子さん一家も映画に出演しています。

この映画と佐々木センター長の講演(45分)を通して、あの日から7年目を迎えようとする東北に改めて思いを一つにしたいと企画いたしました。

日時：2017年2月17日(金)  
午前の部 10:00～/午後の部 18:30～  
場所：オルガホール(岡山県岡山市北区奉還町1丁目7-7)  
入場料：500円  
(高校生以下は400円) ※午前の部・午後の部ともに  
主催：認定特定非営利活動法人アマダ  
共催：おかやまコープ  
【お問い合わせ】AMDA  
電話：086-252-7700 Fax:086-252-7717  
メール：member@amda.or.jp

## 第14回復興グルメF-1大会 in 南三陸町 開催日決定!

日程：3月26日(日) 場所：宮城県南三陸町  
※詳細が決まり次第AMDA HPなどでお知らせします。

## インターン紹介 就実大学経営学部2年 野山 貴弘

2016年10月から1月末までの4カ月間、AMDAでお世話になっています。国際協力活動に興味があり、インターンシップを志望しました。



AMDAで働くようになり、今まで以上に災害について考える機会が増えました。2016年は日本だけでなく、世界中で地震が頻発しました。その度に南海トラフ地震の発生が近づいているのではないかと感じます。

私が住む町には震度5強～6弱の揺れが予測されています。「まさかこんなに揺れるとは思わなかった」「まさか非常食や避難グッズが必要になるとは思わなかった」と後悔しても遅いです。地震発生時の「まさか」をなくすために日々の準備の大切さを広めていきたいです。

## 東北三陸沿岸地域から学ぶ南海トラフ地震への備え

～AMDA 東日本復興支援第3次3か年計画と復興グルメF-1大会～

復興グルメF-1大会実行委員会の東北3県の仮設商店街の方々に岡山に参集いただき、津波への警戒と発災後の対応、そして復興に向けた道のりの中で大切なことを学ぶ会を計画しています。事前にご参加申し込みをお願いします。

日時 2017年2月28日 午後1時30分～4時  
場所 岡山県生涯学習センター 視聴覚室  
【お問い合わせ】AMDA

## フィリピン台風30号から3年

2013年11月、フィリピンを台風30号が襲い、死亡者は6千人を超えました。AMDAは緊急支援として同年12月末までに8か国のべ25人のスタッフ



をレイテ島など5つの島に派遣。その後も復興支援としてレイテ医師会館再建事業などを実施しました。

そして台風から3年が経過した2016年11月、活動していたレイテ島タクロバンにて、犠牲者を追悼する式典にAMDA職員が参列しました。町の雰囲気は一変し人々の生活は活気に溢れており、3年間の歩みを感じました。

多くの方々からご寄付をいただきました。一部を紹介します。



おかやまコープ様



タイ モンフォート高校様



トマト銀行様



大衆音楽協会様